



地域をむすぶ 葛城修験

～桑原正明水彩画で巡る歴史と文化～



トークセッション

参加無料・要申込

日時 令和8年12月5日(土)

13:30 ～ 15:00
(開場 13:00)

場所 かつらぎ総合文化会館
AVホール

定員 150名(裏面参照)

※申込多数の場合、抽選

手話通訳が必要な方は、お知らせください。

葛城修験の各所を訪れ、描かれた水彩画を通し、画家や研究者、地元で修験に携わる方がそれぞれの立場からみた修験についてトークセッションをします。

展覧会

入場無料・申込不要

日時 令和8年

12月4日(金)～6日(日)

4日 13:00 ～ 17:00

5日 9:00 ～ 17:00

6日 9:00 ～ 16:00

場所 かつらぎ総合文化会館
展示ホール

桑原正明氏が葛城修験の各所を実際に訪れ、描いた水彩画を展示します。葛城修験ゆかりの地の風景や文化財を水彩画で巡りませんか。



「神野の里」

講師

みやもと よしのり
宮本佳典氏

(郷土史研究者)



くわはら まさあき
桑原正明氏

(水彩画家)



まとば や え こ
的場八重子氏

こうの あ み た どうかぎあずか
(神野阿弥陀堂鍵預り)



開催にあたって

修験道の開祖である役行者が初めて修行を積んだ地である葛城の峰々。和歌山県・大阪府・奈良県にまたがる総延長112kmに及び葛城修験の道筋には、28の経塚をはじめとして、寺社や行場といった特色のある関連文化財が点在しています。

葛城修験について広く知っていただくため、2023年から紀の川流域の4市町合同で公開講座を開催しています。



葛城修験日本遺産
活用推進協議会



修験道
葛城

講師紹介

くわ はら まさ あき
桑原 正明氏

水彩画家。15歳のとき独学で水彩画を始める。2011年、京都にてアートスタジオ「水彩時々ペン」を設立。主宰として、グループ展「ゆかいな仲間たち展」の企画運営に携わる。2014年より「葛城」、2018年より「京都北山」、2020年より「伊勢本街道」、2021年より「葛城修験」をテーマとした水彩画連作に取り組む。「水彩時々ペン」創設者。「河内を描く会」委員。

みや もと よし のり
宮本 佳典氏

郷土史家。長年、教職の傍ら仏教民俗学を研究。橋本市隅田小学校長を退職後、橋本市、紀の川市、かつらぎ町の文化財保護審議委員を歴任。県内の歴史や文化に造詣が深く、葛城修験についても関連する研究多数。2016年度に橋本市文化表彰の文化賞を受賞。

まと ば や え こ
的場 八重子氏

登録有形文化財『的場家住宅』所有者。かつて神野町内会長を務め、『神野阿弥陀堂』を守り続けている。的場家は聖護院（京都府）・三井寺（滋賀県）などの修験者の方々が神野を訪れる際にお接待を行っている。記録や言い伝えで、天女山正楽寺や神野阿弥陀堂でのお接待が江戸時代にあったことが伝わる。

申込方法

申込期間：令和8年9月1日（火）～10月30日（金）

① 郵送

往復はがきに必要事項を記入し下記宛先まで郵送ください。申込結果は返信はがきにてお知らせいたします。
手話通訳が必要な方はお知らせください。

郵送先／〒649-6492

和歌山県紀の川市西大井 338

紀の川市教育委員会生涯学習課 宛

申込期限／令和8年10月30日（金）**消印有効**

記入例	（往信面）	（返信面）
和歌山県紀の川市 西大井338 紀の川市教育委員会 生涯学習課 宛	※この面には何も 書かないでください	① 申込者の 氏名 ② 連絡先電話番号 ③ 同行者の氏名 （最大3名） ④ 住所 ⑤ 氏名 ⑥ 郵便番号

※天候等により、開催を中止する場合があります。

② 申込フォーム

二次元コードから
お申込みください。



申込フォーム

お問合せ

紀の川市教育委員会生涯学習課
(0736-79-3907)

会場アクセス

かつらぎ総合文化会館
(かつらぎ町丁ノ町 2454 番地の 1)

JR 妙寺駅から
タクシー 約 5 分
徒歩 約 20 分

京奈和自動車道
紀北かつらぎ IC から 約 5 分

